

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saldenkyo.jp/>
Email kyokai@saldenkyo.jp

彩の耀

第166号

平成24年10月19日発行

発行人 萩野勝治

編集人 広報委員会

(委員長 町田浩征)

編集 日本工業経済新聞社

(埼玉建設新聞)

災害復旧対策で講習会 70人参加し熱心に聴講

9月14日に建産連研修センターで災害復旧対策講習会を行いました。当日は会員関係者約70人が参集され、講師の話に熱心に聞き入っていました。講習会は①埼玉県の防災対策について②東日本大震災の被害状況と現状、今後の備えについて③災害時の実働体制についての3部構成で、第1部は県の危機管理防災部から、第2部は株式会社ユアテック様から講師を招きそれぞれ約1時間に渡って講義、第3部の災害時の実働体制については事務局から説明を行いました。

講習に入る前に萩野会長は「災害に備えるため『まさかのため』に今日の講習会メニューを用意しました。事故防止対策委員会が中心となって準備を進めていただき、感謝に絶えません。本日たくさんの人々に集まつていただきましたが、是非本日の講習会を実のあるものにし、持ち帰っていただきたい」と挨拶し、災害に備える事の大切さを訴えていました。

第一部の埼玉県の防災対策について消防防災課の山田歎主幹が、地域防災計画改正後の取り組みについて解説。特に帰宅困難者対策と備蓄物資に関し、東日本大震災を教訓に従来の想定方法を見直した点などを説明していただきました。

第二部の東日本大震災の被害状況～について陸前高田市出身の佐々木慎一電気設備部長が、震災直後に自ら被災地に入り電気設備の復旧作業に入った経験談をお話いただきました。また普段心掛ける事やルール化しておくべきことなど、今後の備えについても具体的に説明をいただきました。

最後に事務局長から災害時の実働体制について説明して、講習会を終了しました。



70人が参加した講習会

平成24年度安全大会を開催 夏に向け熱中症対策

7月4日、建産連研修センターに埼玉労働局の森田富久健康安全課長や富士火災海上保険の加藤仁シニアリスクアナリストを招き、平成24年度の安全大会を開きました。安全大会は事故防止対策委員会が中心となって毎年実施しているもので、会員企業の安全意識の向上から関心が高く会場は、盛況でした。

大会に先立って岡村副会長が県内の事故発生状況について報告するとともに「5件の死亡事故のうち2件が電気関係の方で我々も注意を怠ってはならない。この今日を機に心新たに安全について考え、事故防止に役立てたい」と挨拶しました。

埼玉労働局の森田課長は暑い季節に向かい事故発生日を分析した結果「盆明けの8月20日ごろに多発しています。休みで体がエアコンに慣れてしまい暑さに対応できず熱中症になってしまうようです。監督管理者の方は作業従事者に対し無理にでも水を飲ませるよう対策を講じて欲しい。また睡眠時間が足りない人、深酒をする人ほど事故に会う傾向が高いので、普段の生活にも注意を払って欲しい」と熱中症対策を忘れないよう呼び掛けていました。

富士火災の加藤氏は、安全作業と災害防止について講話。災害を環境原因と人的原因について解説。リスクアセスメントの有効な進め方について分かりやすく説明し、事業者・作業者が実施すべき災害防止策について具体的な提案を掲げていました。



関心高く盛況となった安全大会

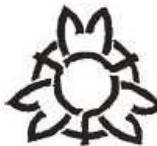
国土交通大臣表彰を受賞

当協会島村副会長は『建設業の発展に尽力してきた』として功績が認められ、平成24年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞しました。

表彰式は7月10日に国土交通省の10階共用大会議室で行われました。



「彩の耀」に寄せて



伊奈町町章

制定の由来

「いな」を花弁に図案化、住民が団結し、手を取りあって輪をつくり、花のような美しい地域をつくるという意味で、昭和25年7月15日一般から募集、町制施行前から村章として使用していたが、昭和45年11月1日町制施行と同時に町章として制定されました。

伊奈町長 野川 和好

一般社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃より電気設備産業の適切な運営と健全な発達にご尽力を賜り、社会生活の安定にご貢献をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、私は去る4月に町民の皆様から温かいご支持を賜り、引き続き町政を担わせていただくこととなりました。皆様から寄せられました信頼と期待に応えるべく、初心に返り3期目も全力で取り組んでまいります。

また、5月31日には埼玉県町村会長に就任させていただきました。県下23町村の代表として、誠心誠意取り組んでまいる所存でございます。

伊奈町は、埼玉県の中南部に位置し、面積は14.80km²、東北新幹線と上越新幹線の分岐点でもあります。昭和18年に小室村と小針村が合併した際、今から400年ほど前に関東郡代伊奈備前守忠次公がこの地に陣屋を構えていたことから、その名にちなみ伊奈村と命名したことがその名の由来であります。

私が町長に就任しました平成16年当時の町の人口は約35,000人でしたが、現在は43,000人を超えています。平成22年に行われた国勢調査においては、前回の調査と比較して人口増加率が埼玉県内で第1位、全国では第5位であります。また平均年齢では県内で3番目に若く、15歳未満構成比においては第1位となっており、若い活気あふれる町へと確実に発展を続けております。

この伊奈町を、子どもたちから高齢者の方々まで、だれもが安心して安全に暮らせるまちとすることが、大きな目標であります。町では「自然と調和した、ふれあい・安心安全・住みよいまち」を目指し、「伊奈を育む5つの政策」を掲げております。

1つ目は「心豊かな人と文化を育む」であります。伊奈町の恵まれた自然や歴史などの地域資産と充実した教育環境を活かしながら、学校、家庭、地域などの

様々な場と機会を通して、心豊かな人づくりと歴史や文化を大切にしたまちづくりを目指すものです。

2つ目は「すこやかで心安らぐ福祉を育む」であります。子どもから高齢者の方まで、だれもが生涯にわたり健康で安心して暮らせるよう、健康づくりの推進を図っていくものです。

3つ目は「みどりうるおう美しい環境を育む」であります。昨年3月に未曾有の災害をもたらした東日本大震災から1年半余が経過しました。被災地では多くの尊い命や財産を奪われ、まだ多くの皆様が悲しみや苦悩を抱えながら、厳しい生活を強いられています。幸い町では大きな被害は免れましたが、私たちの防災に対する意識を再確認させられた震災もありました。町民の皆様方が安心して暮らせるよう、さまざまな教訓を踏まえ、地域防災計画の見直しを行います。

4つ目は「暮らしと活力を支える産業を育む」であります。農業振興として、遊休農地の解消に向け都市近郊型市民農園を普及するとともに、新規就農支援を図っていきます。商業振興としては、町内商工業の活性化や雇用の確保を図るとともに、先端企業の誘致を進めています。

5つ目は「いきいきとした参加型社会を育む」であります。徹底した財政規律の健全化と行政の効率化に取り組むとともに、町民と行政の協働のまちづくりを推進していきます。

今後とも更なる発展を目指し、伊奈町の明るい未来に向けて職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き町政に対しましてご協力をお願ひいたします。

結びに、一般社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と、会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、あいさつといたします。

平成24年度総合評価 ポイントアップ勉強会

空調衛生設備協会と合同で 70人が参加し総合評価勉強会を実施

7月12日に埼玉会館で埼玉県空調衛生設備協会（大原萬瀬会長）と合同の「総合評価ポイントアップ勉強会」を開きました。建築関係の総合評価研修会は機会が少なく、両協会の会員およそ70人が参加し、熱心に講師の話を聞きメモを取っていました。

勉強会に先立ち、荻野会長は「総合評価落札制度は奥が深く難しいものです。受注者としてあらゆる意味で遅れることのないようしっかりと勉強し、発注者に迷惑を掛けないようにしなければなりません。本日の勉強会を意義あるものにしていただきたい」と挨拶しました。

勉強会は午後1時30分に開始。1時間30分に

渡って関東地方整備局営繕部から黒岩課長補佐が「入札契約手続きの実施方針」「営繕工事の総合評価落札方式」について講演。技術提案のポイントや施工計画書に関する注意事項などについて分かりやすく解説していました。

休憩を挟み、県土整備部建設管理課の祝主査が「総合評価ガイドライン改定内容」などについて解説。資料作成上の注意点（企業の工事成績評定、施工実績、災害協定・CO₂対策、技術者の工事成績評定など）詳細に解説しました。



総合評価ポイントアップ勉強会で挨拶する荻野会長

積算セミナー

60人参加し聞き入る 積算セミナーを開催

埼電工組と共に

**事主
業要**

8月8日に埼玉建産連研修センターで、当協会と埼玉県電気工事工業組合の共催による積算セミナーを開きました。2団体から約60人が参加。県企業局や建設管理課などで設計・積算業務に携わっていた電気工事工業組合の茂木貞男氏の解説に聞き入っていました。

講習に入る前に当協会の企業対策委員長で組合理事の熊田氏が「予定していた定員をオーバーする申し込みをいただきました。また事前に質問も提出されており皆さんの積算に対する関心の高さ

が伺えます。本日の講習の成果を持ち帰り、日々の業務に活かしてもらいたい」と開会の挨拶しました。

講習は①公共建築工事内訳書の標準書式②公共建築設備数量積算基準③共通仮設費の算定④現場管理費および一般管理費の算定⑤共通費算定に関する留意事項など実務的な内容についてプロジェクターを使用し、分かりやすく解説していました。



技術講習会

内線規定で技術講習会 100人が改正点を確認



島村副会長 7月24日に建産連研修センターで第1回技術講習会を開催しました。当日は会員のほか一般からの参加者含め約100人が参加し、今年2月に改定された「内線規定」に関する技術基準の解釈改正点や規定内容の見直しについて確認・勉強しました。

「内線規程」は電気工作物の設計、施工、維持・運用上守るべき技術的事項を定めた民間規程として広く活用されております。電気工事の施工・管理に従事している技術者を対象に重要事項など実務に役立つ解説が行われました。

主催者を代表して島村光正副会長が「協会の公

益的事業の一環として、また多くの技術委員の方の協力により本日の講習を行うことができました。日本電気協会から技術部の岡野哲也先生を招き、変更点などについて解説していただきます。限られた時間ですが勉強したことを身に着けていただき、仕事に役立てていただきたい」と挨拶しました。

講義は①内線規定と法令②内線規定の改定経緯③内線規定の変更点（共通部分、総則、構内電線路、電気使用場所などの施設）の順に進行。参加者は熱心に聞き入っていました。



100人が参加した技術講習会

「新入社員は新人類」

人材育成委員会

委員:市之瀬 正靖 ((株)市之瀬電設)

いろいろな個性が集って成り立っている我社。手が器用な社員・呑み込みの遅い社員など様々だ。そんな我社に今年の春、20年ぶりの新入社員が2人入社した。

入社する新入社員も社会人として会社になじめるのか、またどんな先輩の下で仕事を覚えていくのか、不安でならなかっただろうと思う。

我々もまた、20年ぶりの高校卒業の新入社員と、どの様に接していくべきか不安が付きまとっていた。新聞紙上で「現代の若者は、ゆとり教育世代で能動的ではなく受動的である。」と、よく目にする。先輩たちと上手く溶け込む事が出来るのか、自分の親世代や親より上の先輩たちと話が合うのか、初めの2・3ヶ月はそのようなことを考えながら見守っていた。

新人の一人は長谷川君。県立の総合高校を卒業、在学中は、高校生のロボットオリンピックに参加をした生徒。卒業時には、電気工事士を取得してきた。もう一人の新人は吉川君。県立の普通高校で3

年間野球一筋に打ち込んできた後輩想いの生徒。今は、東京電業協会が設立をした夜間学校に通いながらの無口な頑張り屋である。

たたき上げの先輩の中に入った二人は、それぞれ自分のベストを尽くしているようだ。しかし、指導者としての先輩たちは、自分がこの世界に入った時の実体験が体に染みついていて「今の子供は・・・」と嘆いている。【失敗を恐れ行動が出来ず立ち止っている新入社員】と【失敗を恐れず体ごとぶつかってきてほしいと思う先輩社員】との葛藤を感じ、ふと自分たちが新入社員のときのことを思い出してしまう。

入社した当時、我々は先輩から「新人類」と言われた。しかし、この子たちも我々からすれば「新人類」である。彼らが我社で一人前の社会人として成長した時には、次世代の新入社員を「新人類」と感じる先輩になっているかもしれないと思う今日この頃だ。

建築設備3団体 要望活動報告と意見交換

当協会と埼玉県設備設計事務所協会（金子和巳会長）、埼玉県空調衛生設備協会（大原萬彌会長）の建築設備関連3団体は8月29日、さいたま新都心のホテルブリランテ武蔵野で第8回連絡会議を開催し、分離発注に関する要望活動の報告並びに今後の対応、業界の今日的課題などについて意見交換しました。

今回の会議は空衛協会が幹事当番で、3団体の会長が順番にあいさつしてから議事に入りました。

最初に、空衛協会の千島勉事務局長が、分離発注活動に関する要望活動について、6月28日に3団体の代表が揃って県庁を訪問し、都市整備部をはじめ関係部局の幹部に要望書を手渡し、真摯に対応してもらえたことを報告。埼玉県議会中小企業を支援する議員連盟（会長・野本陽一県議）にも議会事務局を通じて要望書を提出しました。

成果としては、3団体幹部が揃って赴いたことでインパクトが大きく、好意的に対応してもらえたことから、次年度以降も協力して要望活動を実施することに合意しました。

また県内63市町村への要望活動については、8月上旬からそれぞれの団体が任意に実施しており、首長や発注担当課などに要望書を手渡している状況が報告されました。

一方、今日的課題の意見交換では△社会保険加入の徹底△下請け契約および下請け代金支払いの適正化並びに施工管理の徹底△建設業法法令遵守ガイドラインの一部改正△社会保険加入に関する下請け指導ガイドラインの制定などについて、各団体の取り組み状況を話し合いました。

このほか設備設計事務所協会が主催し、電業協会と空衛協会が協賛する技術研修会を11月28日に大宮ソニックスティで開催することが報告されました。メインテーマは『電力負荷平準化と建築設備』で、3団体の会員とともに県や市町村の建築設備担当技術者に数多く参加してもらえるよう依頼します。



「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」

南部支部長 株奥富電気工事

代表取締役 奥富 精一

協会だより
南部支部

来る11月11日（日）、鳩ヶ谷と川口との合併記念事業として国道122号から旧道にかけて「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」が開催されます。当日は徳川將軍家の社参再現など総勢1000人規模の行列が行われます。

徳川將軍家の日光東照宮への墓参は日光社参と呼ばれ、江戸時代に計19回行われています。10代將軍家治（いえはる）の行列は、先頭が日光にある時に最後尾は未だ江戸府内にあったとも言われているほど盛大なものでした。「御成道まつり」は、日光社参など当時の様子を再現しようというものです。

日光社参は江戸（千代田）城大手門を出発。神田の昌平橋で中山道に入った將軍一行は、本郷追分（東京都文京区）から日光御成道へ。この道は、いわば「將軍専用道」。岩淵宿（東京都北区）、川口宿、鳩ヶ谷宿、大門宿（さいたま市）、岩槻宿（さいたま市）を経て幸手追分（幸手市）で日光街道に合流します。

岩淵宿を出た將軍一行は、対岸の川口宿との間に横たわる荒川に長さ65間（約118m）の板橋を渡り川口宿へ。御膳所である錫杖寺（しゃくじょうじ）に入り昼餉を取りました。代々譜代大名が務めた岩槻藩主は、川口宿で將軍を出迎え、宿所となる岩槻城にとんぼ返りし再び將軍を出迎えました。今も国

道122号の岩槻以南に「岩槻街道」の通称が残ります。

その次の鳩ヶ谷宿は日光街道千住宿・草加宿・越ヶ谷宿を結ぶ“千住道”“草加道”“越ヶ谷道”を結ぶ中継地点でした。中山道戸田の渡し・蕨宿を結ぶ“戸田道”“蕨道”的名が今も残ります。見沼通船堀も開削され、人と物資が集まりました。

川口には現在、東京外かく環状道路（東北・関越・常磐自動車道を連絡）と首都高速道路が交差するジャンクションがあり、今も昔も交通の要衝なのです。

11月11日に行われる「御成道まつり」は4つの行列で編成。鼓笛隊やマーチングバンドをなどの先導パレード。1728（享保13）年に13万3000人規模で行われたという八代將軍徳川吉宗の社参行列を参考に將軍が乗る駕籠を中心にお目付や御小姓（おこしょう）たちの隊列を約300人で忠実に再現する「日光社参行列」。岩槻藩主の参勤交代を再現した「大名行列」。川口市とゆかりのある人物による「歴史行列」など、総勢1000人規模の行列になります。

コースはJR川口駅東口から錫杖寺を経由し埼玉高速鉄道川口元郷駅までの約1.5km（川口宿コース）と、鳩ヶ谷庁舎を出発し日光御成道から地蔵院までの1.1km（鳩ヶ谷宿コース）があり、大名行列などを再現し盛大に行われます。

感動

（株）東電工業社 常務取締役 島田 正男

今の世の中、陰鬱ないじめによる自殺が社会問題になった事件や事故災害ばかりが報道されている中で、最近この“感動”という言葉になかなか会える機会がありませんでしたが、私の友人の孫が父母にあてた1通の手紙を拝見して久々に感動しました。家族愛、父母に対する愛情、親に対する感謝の念がパソコンで書き上げた文章では無く、昔ながらの万年筆でしかも手紙という形で表現されています。

以下、全文ではありませんが、本人の承諾を得てご紹介させていただきます。

『お父さん、お母さん十五年間ぼくを育ってくれて本当にありがとうございます。今日僕は九年間の義務教育を終え、自らが決めた進路へ進もうとしています。二人にとって今日までの道のりは本当に長く険しいものだったと思います。お母さん、若くして僕を産んで本当に大変だったよね？お母さんは自分の時間を全て僕の為につかって一生懸命育ててくれました。僕の小さかった頃の話を聞くと本当に大変だったんだ

だということがよく分ります。今まで苦労をかけた分これからは少しずつ自立してお母さんを助けてあげられるよう頑張ります。お母さんもいつまでも若くてキレイなお母さんでいて下さい。お父さん、やさしさをもって僕を育ててくれて本当にありがとうございます。いつもやさしく、家族思いのお父さんは僕の誇りです。お父さんのやさしさは僕に対する愛情であふれていたよ！また、時に厳しくしかってくれたことも僕にとってとてもプラスになっていると思います。（・・・・中略・・・・）

最後に、お父さん、お母さんこれからは、義務教育も終わり、自分の全ての行動に責任を伴います。そしてこれからは自分なりに精一杯努力して頑張るので、二人にはそれをじっくりと見守っていて欲しいと思います。今度は自分の“力”で自分の“道”を切り開いていきます。』

この文章を何らかの形で紹介したいと思ったところ、今回の機会をいただきありがとうございました。15歳の少年に教えられました。今一度、日本人の忘れていた心、日本文化の良いところを思い起こしていただければ幸いです。

協会のうごき

8月

- 8日 積算セミナー
人材育成委員会
28日 関東六県電気工事業厚生年金基金の現状説明会

9月

- 5日 人材育成委員会
6日 登録電気工事基幹技能者特例講習会
12日 1級電気工事施工管理技術者検定試験準備講習会実施コース1/3

技術研究委員会

- 14日 災害復旧対策講習会
18日 第7回理事会
19日 1級電気工事施工管理技術者検定試験準備講習会実施コース2/3
26日 1級電気工事施工管理技術者検定試験準備講習会実施コース3/3

23日 営業関係者セミナー

- 27・28日 H24登録電気工事基幹技能者認定講習会

11月

- 20日 第9回理事会

12月

- 18日 第10回理事会

(社)埼玉県電業協会会員

支部長○ 副支部長○

さいたま支部(15社)

- 旭電気工業㈱(大宮区)
浦和電気工事㈱(南区)
大塚電設㈱(浦和区)
熊岡村電機(緑区)
○国益電設工事㈱(南区)
◎埼玉電設㈱(中央区)
(さいたま市)

東部支部(11社)

- 三洋電設㈱(南区)
新生電気工事㈱(見沼区)
竹内電気㈱(岩槻区)
㈱横田電業社(浦和区)
中村電設工業㈱(見沼区)
浜野電設㈱(北区)
㈱万代電気工業(桜区)
瑞穂電設㈱(北区)
㈱八洲電業社(北区)

西部支部(18社)

- ㈱新井電機(飯能市)
○坂島電器工事㈱(川越市)
(㈱)市之瀬電設(志木市)
(㈱)岡島電気商会(川越市)
(㈱)おぎでん(川越市)
熊田電気工事㈱(狭山市)
(㈱)三共電気商会(和光市)
(㈱)櫛根電気商会(川越市)
◎相馬電業㈱(和光市)
(㈱)電成社(川越市)
(㈱)中村電気(新座市)
橋電㈱(所沢市)
(㈱)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事㈱(川越市)
㈱北産電設(所沢市)
(㈱)まつもと電機(和光市)
(㈱)明電社(川越市)
(㈱)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部(10社)

- 内山電設㈱(川口市)
○柳興富電気工事(川口市)
川島電気㈱(川口市)



1級の受験準備講習会20人が実地対策指南

9月に3回に渡って1級電気工事施工管理技術検定試験(実地試験)の受験準備講習会を建産連研修センターで開催しました。第1回目の講習は9月12日(水)、2回目は同月19日(水)、最終講習は26日(水)を行いました。講習会には定員一杯の20人が参加、皆真剣な面持ちで小泉一夫氏(ケイ・教育企画サポート事務所)の受験対策指南を受けていました。

講習では最初に1時間ほど掛けてオリエンテーション・ガイダンスを行い、施工経験記述、法令・施工管理、法令・用語の定義など模擬試験形式で徹底的に弱点などを克服。それぞれ回答の添削、採点・評価、個人別に学習指導を行い実地試験突破を目指しています。

協会では受験準備講習を毎年行っており、受講者の

合格率は学科・実地ともに平均(昨年度の学科合格率42・5%、実地64・6%)を上回り、多くの合格者を輩出しています。

講師の小泉氏は「受講者の方たちは1級の資格を取ろうということからも分かるとおり、会社でも重要なポストについているはず。今後電気業界で仕事をしていく上で必要な資格ですので、是非10月の実地試験を突破し、資格をモノにして欲しい」と語っていました。



20人が参加した1級施工管理技術検定(実地)受験準備講習会